



ホテルや旅館等で履き古した下駄に感謝を込めて点火しました

厳かに下駄供養祭挙行

十一月十一日、湯らつく公園で下駄供養祭が開催されました。毎年、「二の字、二の字の下駄の跡」にちなみ、十一月十一日に行われているこのお祭りは、温泉街で履き古した下駄を供養し、商売繁盛、無病息災を祈願するものです。

四十五回目を迎えた今年は、あいにくの雨でしたが、厳かに供養式がとり行われた後、観光関係者らが、大篝^{かき}火台に積まれた古下駄に感謝を込めて、点火しました。

PHOTOぎゃらり〜

十月二十九日、三十日の二日間、葦山運動公園で、ねんりんピック静岡2006ペタンク交流大会が開かれ、全国から集まった六十、四チームが優勝目指し、熱戦を繰り広げました。

地元、土手和田チームは、多くの観客の支援を受け、予選リーグを全勝で突破し、決勝トーナメントへ進出。一回戦で、十勝ワインズ（北海道）に健闘したものの、惜しくも敗れました（十勝ワインズは同大会優勝）。

また会場では、長岡北小六年生が、自分たちの育てたイチゴの苗を選手らにプレゼントするなど、各地から集まった選手たちとの交流を深めました。

土手和田チーム健闘！ ねんりんピック静岡2006 ペタンク交流大会



地元特産品のPRも兼ねて、自らが育てたイチゴの苗を選手らに配る長岡北小の6年生 →



ビュット目掛け、ボールを投げる土手和田チーム

「防災」を楽しく学ぼう

消防フェスタ2006

楽しみながら体験、参加して防災意識の高揚と、消防団活動への理解を深めることを目的に、伊豆の国消防フェスタ2006が、11月12日に行われました。会場となった元スポーツワールド駐車場には、2,800人が集まり、大道芸や自治防災会放水競技、消防団によるポンプ操法、起震車体験、ダミー人形を使った人口呼吸法、消防団員による模擬店など、多彩な催しでにぎわいました。

家族連れには、消防車体験乗車が大人気で、長蛇の列ができるほど。大人から子どもまで、楽しみながら防災について学びました。



煙ハウスを使って、火事現場を体験

十一月七日、葦山時代劇場でエンリケ・クッティーニ楽団によるタンゴエモーションが行われ、約三百人が来場しました。

葦山時代劇場公演は今回で三回目。ピアノ奏者であり、すべての演出も手がけるクッティーニが、ピアノやトークで盛り上げると、観客は歌ありダンスありの本場アルゼンチンタンゴに魅了されていました。



観客の手拍子を誘うクッティーニ

アルゼンチンタンゴを堪能 エンリケ・クッティーニ楽団「タンゴエモーション」



市長に成績報告する鈴木さん

十一月一日、静岡県Aチームの一員としてねんりんピック静岡2006剣道の団体戦に出場した鈴木欽矢さん（土手和田）が市長を訪れ三位入賞を報告しました。

鈴木さんは「開催県での優勝を目指し、大会半年前から代表選手が集まり、練習を重ねてきました。プレッシャーもありましたが、最高の力を出し切ることができました。来年は優勝を目指します」と語りました。

鈴木さん出場の静岡Aが三位入賞 ねんりんピック剣道団体



パノラマパークではロープウェイへの乗車も体験

高齢者・障害者を疑似体験 交通バリアフリー教室

11月14日、交通バリアフリー教室を開催しました。午前は小学生を対象に、午後は交通・観光事業者を対象に行われました。

参加した長岡南小4年生29人は、市社会福祉協議会職員による「車いすの使い方」などを受講後、伊豆長岡駅でアイマスクや高齢者疑似装置（腕や足が曲がりにくくなる器具やおもり）を装着してのバスや電車の乗降を体験。車いすに乗っての構内移動も実施しました。

午後からは、観光施設では初の試みとなる、かつらぎ山パノラマパークで実施。講義後、高齢者疑似体験や車いすの乗車とそのサポートを体験し、交通バリアフリーに対する理解を深めました。



日頃の練習の成果をステージ上で披露しました：三味線

三十三組が熱演 市民文化祭・芸能発表会



太極拳

十一月五日、葦山時代劇場で市民文化祭のフィナーレを飾る芸能発表会を開催しました。来場者・出演者あわせて約千人が詰め掛けた会場では、器楽、詩吟、踊り、ヨーガ等さまざまな演目が披露されました。観客は、懐かしい童謡のメドレー演奏に合わせ、歌詞を口ずさんだり、太極拳などの鍛え抜かれた体さばきに盛んな拍手を送ったりと、ステージと客席が一体となり、昨年を上回る盛り上がりを見せました。